

平成29年度 学校関係者評価書

| | |
|-----|--------------|
| 学校名 | 和歌山市立 楠見西小学校 |
| 作成日 | 平成30年2月26日 |

1 教育目標

豊かな心と実践力のある子どもの育成

- めあてを持って、深く考え、自分から学ぼうとする子
- 心豊かで、美しさに感動できる子
- 強くたくましく、困難にもくじけず、最後までやりぬく子

2 学校の自己評価についてのご意見

| | 開かれた学校 | ゆたかな心 | 確かな学力 |
|-------------|---|--|--|
| 重点目標に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会等の学校行事への参加を広く呼びかけ、保護者や地域の方々と連携を図り、学校と地域との協力体制をより強めて欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を定着させるために家庭との連携を図ることはもちろん、関係機関との連携も推進してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や県が実施する調査の結果を分析し、より基礎学力の定着が図れるよう努力してほしい。 |
| 取組の状況に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みのりの集会」に代わり、「ありがとう集会」で家族や地域の方に感謝の気持ちを表せたのはよかった。 ・ 低学年の生活科や高学年の総合的な学習の一環として、地域の方々も参加できる体制をもっと整えてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題に関して、いじめる側の罪の意識が低く、家庭の協力も必要あるのでは。 ・ 登下校時の子どもの様子を毎日見させてもらっているが、きちんと大きな声であいさつできる子どもを保護者、地域を含め協力して育てていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 視力の弱い児童などに十分配慮してあげてほしい。 ・ 国語力の向上に課題は残るが、算数科、理科の結果が県平均よりも向上している点は評価できる。 |
| 検証結果に対する意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者間の協力体制ができてきたように感じる。 ・ アンケート結果では「学校がたのしい」と回答した割合は、中高学年は高かったが低学年は少し低かった。今後も、明るく元気な子どもの育成に取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの保護者の意見に前向きなものが増えている点は評価できる。 ・ いじめの根絶には、まだまだ至っていない現状を踏まえ、学校と取組とともに家庭の教育力の向上を図る必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年の児童の中にごく少数だが、授業が分かりにくいと回答した児童がいることを重く受け止めてほしい。 ・ おおむね検証できていると思うが、きめ細かな検証を続けていただきたい。 |
| 改善方法に向けての意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加型の学習は、学校を知ってもらう上で大事なことだと考える。 ・ 登下校時の見守り隊の皆さんが高齢化しているため保護者の方にももっと協力してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの取組について、学校・家庭・地域で情報を共有することは未然防止に繋がる。 ・ 異学年間のつながりを強くする行事は、今後も継続し仲間づくりに役立てて欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童数が減少する中、子どもの学習意欲を高めるため、今後も授業改善に取り組んでいただきたい。 ・ 共働きの家庭が多い現状において、家庭で自学自習できる子どもを一人でも増やしていただきたい。 |

3 その他のご意見